

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブランケット		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2026年 2月 27日		～ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域を踏まえた様々な活動(自立支援・IT・地域交流)を通して、個々の発達状況に合わせた療育(プログラム)を設定している。	療育(プログラム)の内容が細分化されており、児童の個々に合った支援の課題をスタッフ間で当日又は翌日に振り返りをおこない次の支援内容を設定している。	卒業後の進路を増やすためにスタッフが専門的な知識を身につける。
2	普段体験することが少ない行事設定をおこなっている。	児童から行きたいところややりたいことを都度聞くようにしている。	「できる」ことを増やし、「やってみたい」と思い選択できる活動・行事の幅を広げる。
3	児童の発想を活かした活動内容の実施。	児童のできることに合わせて取り組む内容を幅広く用意している。(ハサミの練習～商品作成など)作成する商品の内容や店舗レイアウトなど細かいところまで児童による話し合いで決定している。	ブランケットフェスなど活動の成果を発表する場に保護者様や地域の方にお越しいただく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流する機会が少ない。活動で訪問した先の方と児童がお話する機会はあるが、地域住民の方と直接交流できる機会はない。	関わるタイミング、見学のようなイベントがそもそも少ない。また、実際に地域の方々と直接交流することが難しい障害の特性を持つ児童もいる。	SNS等で事業所を広く知ってもらう。また、地域のイベントへの参加、自事業所のイベント(ブランケットフェス、夏祭り、ハロウィン等)への招待。
2	保護者様と事業所スタッフ間での交流する機会が少ない。	業務全体の簡素化(ICT化)によるコミュニケーションをとる機会の減少。	保護者会や保護者様参加型イベントの開催。
3	同世代(未就学～小学2年生)の利用が少ない。	活動内容(自立支援・IT・地域交流)が少し高学年以降向けに見えてしまう印象。また、在籍している児童の年齢層が高いため実際に見学へ来られ見られた際に、イメージが合わず利用につながらない。	SNSにてデインでの写真を多くし、発達段階に応じて個々に活動の設定をおこなっていることを広く知っていただけるようにする。